

稲作情報



No. 2 「健苗育成」

JA えちご中越 さんとう営農センター
TEL：0258（41）2887

令和 5年 3月31日

異常気象に備えた「丈夫な稲づくり」

水稻栽培の始まりは **健苗育成**「**苗半作の精神**」で**スタートダッシュ**!!

「苗半作」とは…?

古来より水稻栽培においてよく使われる「格言」です。
苗を育てる育苗作業が、稲を育てる工程の半分を占める重要な作業であるという意味。
また、苗の良否が作物の成長や収穫の良し悪しまで影響することを表している言葉です。
→ 健苗が育てられれば、今年の稲作はほぼ成功！ 苗づくりに失敗してしまうと…

1. 水稻育苗の準備を始めましょう!!

(1) 育苗ハウスの準備

- ◇1 **いもち病やばか苗病の感染源となる稲わらや籾殻**は、**育苗ハウス内・近辺から除去**しましょう。
また、育苗床土へのくん炭混和や育苗時の敷材としての使用は避けましょう。
- ◇2 ビニールを早めに張ることでハウス内を乾かすとともに、ハウス内を暖めておきましょう。

(2) 育苗資材の準備

① 被覆資材

区分	上資材	下資材	保温性・保湿性	注意点
出芽期	シルバーポリトウ#80	ミラシート ラブシート	高	晴天で風が冷たい日の換気忘れに注意!
緑化期	シルバーポリトウを剥ぐ (低温時は二重被覆)	ミラシート ラブシート	低	乾きやすい!

※ 外気の影響を受けやすく苗の生長が遅れる所には「**サイドほっとネット**」を活用して下さい。
※ 被覆資材の劣化は、保温・保湿性の低下による「苗ヤケ・発芽不良・生育不揃い」の発生を助長してしまいます。→ 定期的（3年～5年以内）に更新して下さい。

② 育苗資材の消毒

薬剤名	散布時期	留意事項
イチバン	“土つめ前” (育苗箱、出芽室、 被覆資材の消毒)	1 作業場などを清潔にしてから作業する。 2 イチバンの散布は資材が十分に濡れる程度とし、残液処理は種子消毒剤残液処理方法にしたがう。

③ 高温対策（苗ヤケ防止）資材のご紹介

資材名	保温性	保水性	耐暑性	製品の特長
トーカンほなみ (加温育苗向け)	○	◎	○	高温晴天時の床土温度上昇を抑制し、苗ヤケしにくい 適度な水分を保持する、軽量で耐久性○
太陽シート (無加温育苗用)	△	◎	◎	高温晴天時の温度上昇を抑え、ハウス換気が不要 △低温時の発芽揃いに難あり → 二重被覆が必要
ミラシート	○	○	△	使用年数により保温性・保湿性が低下する 外気温が25℃以上になると苗ヤケリスクが増大する

※ 播種時期や加温方式、ハウスの日射条件を考慮して、使用資材を選定（使い分け）してください。

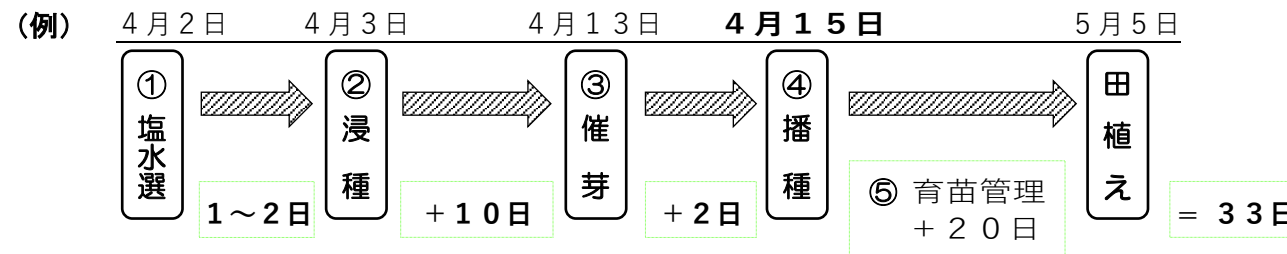
おすすめ
資材

異常気象に負けるな!!

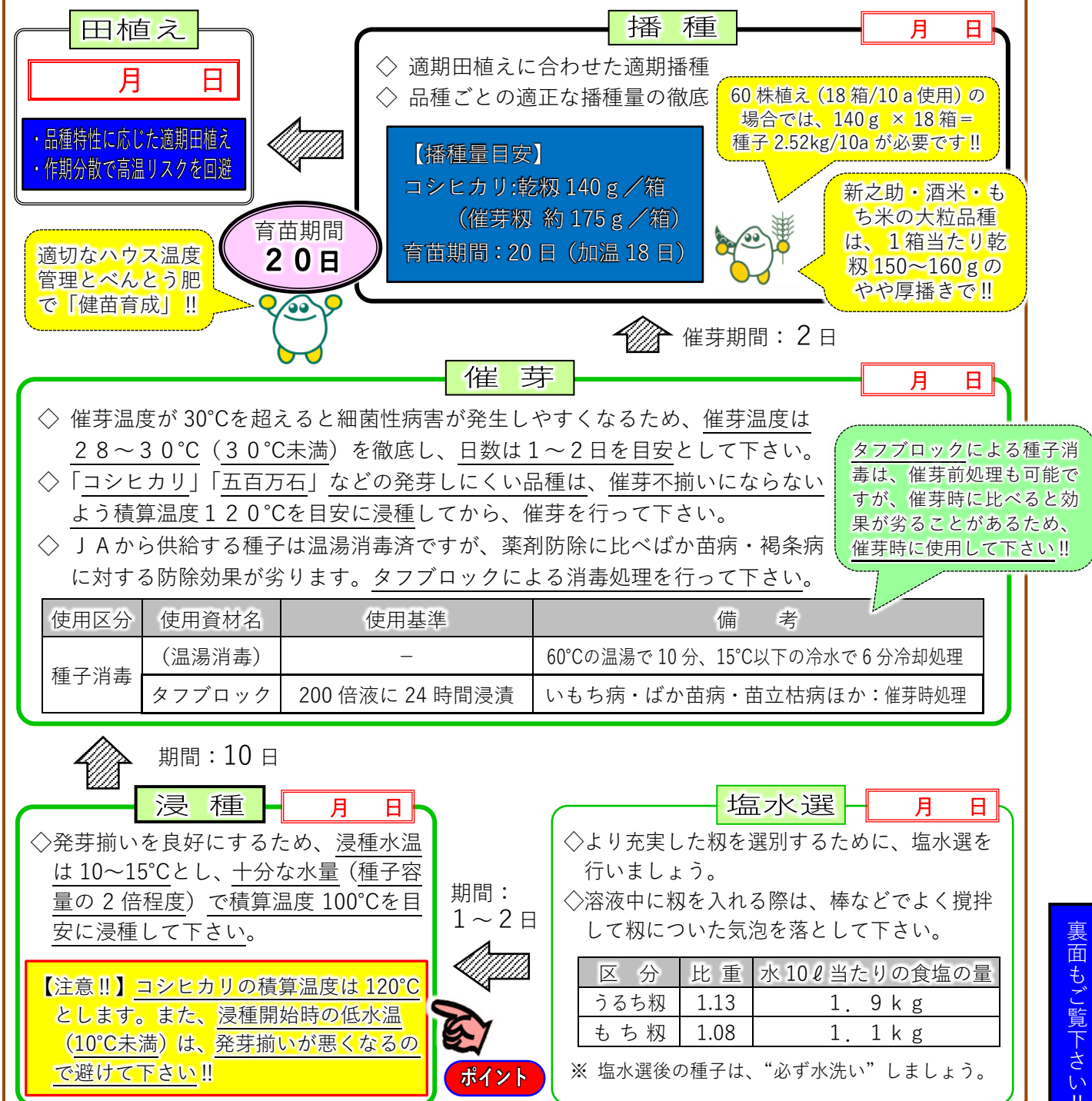
「丈夫な稲づくり」のスタートは「健苗育成」から!!

2. 播種計画（稚苗育苗）を立てましょう!!

軟弱徒長・老化苗防止のため、各品種別に適正な作業計画を作成し、田植えに合わせた適期播種（育苗日数20日程度）、適正播種量、的確な温度管理による健苗育成に努めましょう!!



田植予定日から逆算して“種子予措～播種日”のスケジュールを立ててみましょう!!



裏面もご覧下さい!!

JAえちご中越さんとう地域「特別栽培米 使用基準」

【コシヒカリBL・こしいぶき・契約栽培こがねもちの使用基準】

☆JAえちご中越さんとう地域管内で生産される米穀は、使用する節減対象農薬・化学肥料（窒素成分）について従来（慣行）の栽培基準よりも「5割削減した栽培」に取り組みます。

≪新潟県における「地域慣行栽培基準」と「特別栽培農産物（米） 県認証基準」≫

地域区分	品種 （適用品種）	節減対象農薬使用回数 （成分回数）		化学肥料使用量 （窒素成分 kg/10a 以下）	
		慣行栽培基準	県認証基準	慣行栽培基準	県認証基準
長岡地域	コシヒカリBL、こしいぶき 契約栽培こがねもち	18回	9回以下	6 kg	3 kg 以下

≪JA:使用肥料基準≫ →「化学肥料使用量（窒素成分）3kg/10a」の範囲内で栽培します。

使用 区分	品 目 名	使用量 の目安	化学合成由 来窒素成分 kg／10a	成分（％）				摘 要
				窒素	うち有機	燐酸	加里	
育 苗	* 稚苗苗代配合	30g／箱	0.024	4		6	5	20箱/10a
	ホーネンス培土1号	2.8kg／箱	0.026	0.046		0.046	0.046	20箱/10a
	ホーネンス培土1号Si	2.8kg／箱	0.026	0.046		0.046	0.046	20箱/10a
	亜リン酸入ホーネンス培土1号	2.8kg／箱	0.026	0.046		0.135	0.110	20箱/10a
	【共土用】亜リン酸入ホーネンス培土1号	4.0kg／箱	0.028	0.035		0.097	0.077	20箱/10a
	くみあい液肥2号	10g／箱	0.020	10		4	8	20箱/10a
	尿素	2g／箱	0.019	46				20箱/10a
	べんとう肥	20 g／箱	0.032	8		8	8	20箱/10a
基 肥	* 越後の輝き有機50元肥エコ	30 kg	1.470	10	5.10	8	8	
	越後の輝き有機50ｽｰﾊﾟｰ元肥	40 kg	2.360	12	6.10	6	5	
	有機50早生ｽｰﾊﾟｰ元肥2号	40 kg	2.360	12	6.10	7	6	
穂 肥	* 越後の輝き有機50穂肥	20 kg	1.140	12	6.30	2	8	
	はたる有機穂肥	25 kg	1.250	10	5.00	4	6	
	さんとう穂肥有機	20 kg	2.460	14	1.70	1	14	
	みらい有機831	20 kg	-	8	8.00	3	1	
そ の 他 の 肥 料	鶏ちゃんパワー	60 kg	-	4	4	3	2	R2 参考値
	越後の輝きソイル米スター	30 kg	-			1	7	Si 30
	スーパーシリカプレミアム	20 kg	-					Si 27
	けい酸加里プレミア34	20 kg	-				20	Si 34
	みつパワー	60 kg	-					Si 25
	P K 0 8	20 kg	-			20	18	
	苦土重焼燐	20 kg	-			35		
	マグコープ	20 kg	-			17		
	田んぼの鉄人	15 kg	-					水溶性鉄：17%を含む 土壌改良材
【例】 * 印を標準使用した場合の化学由来窒素			2.634					

※ 上記の使用基準を参考に、使用する資材のトータル化学合成由来窒素成分が県認証基準3kg以下となるよう施肥設計して下さい。

≪JA:使用農薬基準≫→「節減対象農薬使用回数（成分回数）：以下の統一農薬9成分」の範囲内で栽培します。

使用区分		資 材 名	用途	使用成分数	摘 要
種子消毒		タフブロック	殺菌	－	他の種子消毒殺菌剤との併用不可
育 苗		カスミン（粒剤・液剤）	殺菌	－	
育苗箱処理		パディート（1㌔箱粒剤）	殺虫	1	床土混和可能
		ツインパディート（1㌔箱粒剤） ※1	殺菌 殺虫	（2）	床土混和可能 ルーチン粒剤との重複使用不可
本田除草剤	初期剤	メテオ（1㌔粒剤・7㌔7ℓ・ジャンボ）	除草	1	一発処理剤との体系処理
	一発処理剤	エンペラー（1㌔粒剤・7㌔7ℓ・豆つぶ・ジャンボ）	除草	3	粒剤:田植同時可能
	中・後期剤	クリンチャー（1㌔粒剤・EW・ジャンボ） ※2	除草	1	ノビエが発生した場合に使用
	中・後期剤	バサグラン（粒剤・液剤） ※2	除草	1	広葉雑草が発生した場合に使用
本田防除		ルーチン（1㌔粒剤）	殺菌	1	いもち病 予防対応
		スタークル（粒剤・液剤10・豆つぶ）	殺虫	1	共同防除（カメムシ等）
				9	

本田防除 （緊急防除）	カスミン（液剤）	殺菌	－	いもち病（緊急防除）
	バリダシン（液剤5・粉剤DL）	殺菌	－	紋枯病（緊急防除）
	Zボルドー（粉剤DL）	殺菌	－	稲墨黒穂病・稲こうじ

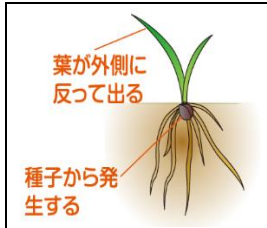
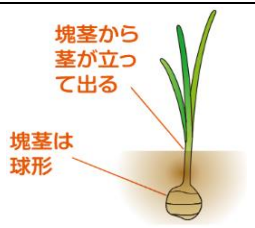
※1 パディート剤（単剤）、ルーチン剤との重複使用は不可となります。

※2 クリンチャーバスME液剤でも可です。ただし、単剤との重複使用は不可となります。

※3 上記以外の品目を使用した場合、特別栽培米の対象から外れる場合があります。

3. 耕起前の本田準備

ホタルイ・クログワイなど、多年性雑草の多発生にお悩みではありませんか？これらの多年性雑草は、冬の低温期に地上部が枯れた場合でも地表近くや地下の茎基部・根塊などが生存し、春先の気温・地温の上昇で4月上旬ころから萌芽・再生します。（*萌芽とは・・・草木が芽生えること）

	地下部で生存した茎基部から直接葉を出して地際から分けつして株をつくる。種子の生産量も多く、水田でのホタルイは大量に生産する種子で増殖する一年生雑草としての特性も示す。
	地下の増殖器官の先端や途中の節から地上茎を萌芽して繁茂する。繁殖力が旺盛で土中 20～30cm の深さの塊茎からも萌芽する。また、ロータリー耕で地下茎が細断されても断片から萌芽・再生する。

地表近くで4月上旬ころに再生・萌芽した多年性雑草は、本田初中期の一発除草剤を散布する時期には薬剤効果の限界葉齢を超える大きな雑草となって「除草の取りこぼし」の最大の要因となります。

対策

「特別栽培米」以外を作付けするほ場で“多年性雑草が多発生する”場合には、「耕起前の茎葉処理除草剤（ラウンドアップMRなど）」を活用した雑草防除を検討してください!!

～～～ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ ～～～

